



Q.3 「加波山市場」の設立趣旨は良いけれど、運営は大丈夫？



A. 「加波山市場」については、当初の設立趣旨は市の総合的な PR として評価すべきと考えます。しかし、運営のし方には問題があります。

現在の収支で、**社長の月額報酬 65 万円**。皆さんどう思われますか？  
経験のない方を社長に任用したことも評価できません。今後は当初の目的達成のため、十分な検討を加えるべきです。



Q.4 **産廃等不法投棄の問題**、どのように解決を？



A. 昨年 9 月以降の対応の中に、友部地区での現在進行中の道路工事をストップできる法的な根拠があります。詳しくは紙面の関係でお伝えできませんが、既に、市内の別の場所でも被害が出ているように、このような案件は、被害が出てからでは手遅れです。とにかく**未然防止**が肝要です。未然防止のための条例等の制定もすぐに取りかかるべきです。  
一地区だけの問題ではなく、“明日は我が身”、**桜川市全体の問題**だという認識をもっていただきたいと思います。



Q.5 上水道送水管の漏水は約 4 割も！って本当？ どうするの？



A. 送水管の老朽化は既に更新の時期を迎えているのに、後回しにされてきました。もう放置できない状況です。  
水は生命維持に最も重要なもの。相当な財政負担が強いられても、それを覚悟し、私ならすぐに取りかかります。



Q.6 市の財政状況は本当に健全なの？・・・なんか実感がないなあ！



A. Q.5 のような状況が生まれていることが、市の財政状況が「見せかけの良さ」だということを表しています。  
桜川市の経常収支比率が他市町村と比べて低いのも、**市民にとって必要な身の周りの課題を放置し、適切な市民サービスを怠っている**ことの現われです。必要なことにお金をかけなければ、財政状況が健全に見えるのは当たり前ですね。これでは、市民生活の豊かさを実感できないのも当然でしょう。  
**大型事業の返済もこれから本格化し、財政の悪化が予想されます。**